

備前市事務事業評価表

事務事業名	指定ごみ袋事業	コード	01-01-14-05
		担当課・係	環境課衛生係
		担当者	川崎 誠
		電話	64-1821
事業実施期間			
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり	
	小項目(施策)	ごみ処理	

事業について	
目的 (何のために)	備前地域で発生するごみ処理にかかる多額の経費の一部を負担してもらうことにより、ごみ減量意識の高揚をはかり減量化・資源化を推進する
対象 (誰・何を対象に)	ごみ処理を必要とする備前地域の市民・市内業者
内容	指定ごみ袋を製造し、販売することで収入を得ている。 燃えるごみ 450袋 450円/10枚 300袋 300円/10枚 200袋 200円/10枚 もえないごみ 300袋 300円/10枚

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
販売枚数	1,441,500 枚	1,526,500 枚	
販売収入	58,447,500 円	60,825,000 円	
製造枚数	3,900,000 枚	200,000 枚	
製造コスト	25,567,500 円	1,296,750 円	
販売手数料	6,127,382 円	6,371,492 円	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	32,566	間接補助金等	7,538	直接事業費	7,538	間接補助金等	0			
	人件費	2,205	委託費負担	32,566	人件費	1,405	委託費負担	7,538			
	市債			市債							
合計	34,771	一般財源等	2,205	合計	8,943	一般財源等	1,405	合計	0	一般財源等	0

結果指標	結果指標名	販売枚数	販売枚数	
	結果指標量	1,441,500	1,526,500	
	単位	枚	枚	
結果指標	対前年比	-	105.90%	0.00%
	活動にかかるコスト	6,127,382 円	6,371,492 円	
	単位当たりコスト	4 円	4 円	
結果指標	結果指標名			
	結果指標量			
	単位			
結果指標	対前年比	-		
	活動にかかるコスト			
	単位当たりコスト			

事業の成果				
どのような成果を得ようとしているか	ごみの減量化・資源化			
成果指標名	1人1日あたり可燃ごみ排出量 (g)	式又は説明	可燃ごみ収集量 (g) / (人口*365日)	
成果指標	17年度	723	18年度	666
	対前年比	-	92.10%	0.00%
	到達目標値	600	到達目標年度	平成25年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： <input type="checkbox"/> )
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	従前はごみ袋の製造に加え、保管配送業務を含んでいたが19年度からは製造のみとした。製造コストの減少が期待できる。
-----------	--	----	--

目標値	結果指標量	結果指標量
	成果指標量	

総合評価	当事業については、ごみ袋を製造し、販売することで事業経費以上の大きな収入を得ている。しかし、販売収入を伸ばすことが必ずしも目的ではない。指定袋の導入によりごみの減量化を図り、ごみ処理経費を削減させることが目的である。販売収入はごみの減量により減少することが予測されるが、それ以上のごみ処理経費の削減効果を期待するものである。	評価区分 <A~E> <b>B</b>
------	--	---------------------------

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果